

山と電気の風景論 ②6

火打山と妙高山～上越・頸城（くびき）三山の高峰～

セリングビジョン(株) 代表取締役 岡部 秀也

湿原、新緑・お花畑、雪渓、火山道と変化満載

火打山・妙高山麓一帯は妙高戸隠連山国立公園に属し、急峻な山岳地帯もあり、雄大な自然の景観が楽しめ、四季折々の変化に富み、湧出量豊富な水源や多くの温泉、スキー場がある。

昨年登った白馬岳から新潟方面の両座を含め三連山がくっきり見えた。頸城三山と呼ばれ、中央が火打山、右が妙高山、左は焼山である。火打が最も高く、我が国の北（緯度）にこれ以上高い山はない。火打は火山道、平原、池沼など変化に富む。その山腹に広々とした高谷池がある。頂上へと木道を歩むなか、高山植物が競い合うように咲いていた。火打頂上まではハイマツの根元を歩む。

隣の妙高山は妙高高原からバスで50分。麓に大斜面があり、日本で最も歴史の古いスキー場の一つだ。筆者も電力会社に入りたては、よく青年文化活動で先輩や同僚と妙高にスキー板をかついで出かけた。

この新潟の南西に聳える妙高山は越後富士と呼ばれ均整がとれており、火山岩や大雪渓も残る。トレッキング道もなだらかな稜線もあるかと思えば、火山岩急登のアップダウンがありスリルもある。

今回は1日目：笹ヶ峰⇒火打山⇒高谷池ヒュッテ泊、2日目：妙高山⇒新赤倉温泉のヤマレコである。



黒沢橋付近



高谷池湿原から火打山へ

1日目：火打山<標高2462m>（平成27年7月19日）

往路（ヒュッテ～火打山は往復と休憩含む）6時間27分、標高差1147m。

- ・笹ヶ峰ゲートから。林のなかの木道は滑りやすいが爽快だ。
- ・一時間半で黒沢橋1575m着。黒沢湿原を源流とする透明な冷たい清流岸で一息。山鳥の鳴き声に

耳を澄ます。

- ・十二曲がりやを30分間。大樹の太根と岩の坂道をジグザグ歩む。12の標識が楽しい。6で展望が開けた。
- ・昼過ぎに、明日登頂する妙高山の外輪山（半円）が見えた。
- ・歩き始めて3時間。1800m。針葉樹の森に入り下る。下に緑の湿原があり、黒沢の源流となっている。2000mで広がる黒沢湿原。豪雪、雨季に湖沼が形成され見事。
- ・ゲートから4時間30分で湿原の外れのドーム型のヨーロッパ風小屋着。

【行程】

上野から新幹線長野行き、しなの鉄道で乗り換え妙高高原。

- 9：20 妙高高原バス停発、笹ヶ峰行き。
- 13kmの長い杉木立（戸隠神社の参道の杉と同じ格式）や、いもり池、黒姫山道を通る。
- 10：10 笹ヶ峰着。
- 10：20 笹ヶ峰登山口発。
- 11：10～11：15 黒沢橋休憩。水補給。
- 11：45 十二曲がり。
- 13：41～14：08 高谷池ヒュッテ宿泊手続きと昼食。
- ヒュッテ～火打山頂往復、1時間半。
- 15：38～15：47 火打山山頂。
- 16：47 高谷池ヒュッテ着。山頂からの帰路、小



木道にコバケイソウが出迎え



火打山山頂

雨にやられ登山服干す。三階の裏部屋が宿。ミックスカレーの夕食。夜8時消灯。団体ツアーで満員。

2日目：妙高山<標高2454m>（平成27年7月20日）



妙高山北峰頂上にて



電化が進み、スカイケーブルで両座登山も安全に

復路（山頂駅まで休憩含む）7時間13分、標高差1147m。湿原→妙高山山頂→スカイケーブル山頂駅→新赤倉。

- ・ヒュッテから30分で視界広がり妙高山見える。カルデラ状の中央火口も眺望。
- ・ここから火口へ100mほど急坂を下る。この豪雪地帯から日本海は近いことがわかる。
- ・小屋から1時間、カルデラから登り返す。火力特有の大きな岩が転がる。高さ数メートルの巨岩もある。頂上の標識が目の前に。
- ・妙高山北峰の標識に3時間に到着しハイタッチ。南峰は高いが目立たない。北アルプスの穂高、槍ヶ岳、鹿島槍、五竜、白馬などが見える。
- ・南峰。季節の移り変わりが印象的。マンガンが固まった地形。

【行程】

- 5：00 ヒュッテ起床。食事5時45分。両座の登山バッジ買う。雨やみ晴れ間差し山岳見える。
- 6：10 妙高山目指し出発。北アルプス眺望あり。黒沢池ヒュッテからきた六団体と出会う。
- 6：35 茶臼山。ぬかるんだ道と木道。雪渓と虫。
- 7：00～7：07 黒沢池ヒュッテ。
- 7：40 大倉乗越山2150m（シラビソの先に火打山眺望、鶯の鳴き声も聞こえる）。
- 7：45 発。崖、雪渓。ロープつかみ急坂下る。
- 8：15～8：20 雪渓直登前に一服。
- 10：10～10：18 妙高山（2454m）登頂。軽食、水分補給。
- 11：35前後 7号目、風穴。ブナ原生林を歩む。
- 11：56～12：00 天狗堂。
- 12：23～12：25 大谷ヒュッテ（無人）。水源ダム工事中。
- 13：23 赤倉スカイケーブル駅着（登山終了）。
- 13：28 発～13：39 新赤倉着。

専用水道で靴、ストック、帽子など洗い、快晴に干す。旅館おかやまで日帰り風呂。16：01新赤倉発、16：17妙高高原着。長野経由で19時頃上野着。

両座への所感

1. 両座とも数日前に大雨が降り、登山日は、ぬかるみで歩きにくく暑く汗だら。しかも時に小雨も降り、登りにくかったが、ロングウォークを果たし達成感があった。虫避けネットも効果的だった。高山植物や湿原、雪渓トラバース、北アルプス眺望の体験ができた。
2. 山小屋高谷池ヒュッテにキャンセル待ちで宿泊できた。満員。三連休は家族連れ、ツアー、パーティが多い。ツアーで25人団体ツアーが来たが燕温泉から妙高山を経て11時間もかかり女性にはつらい山旅だった模様。他の方々も疲労困憊。
3. 行きは笹ヶ峰、帰りは赤倉のスカイケーブル利用。観光協会推薦の旅館の日帰り風呂。温泉で二時間もゆっくりした。山歩きのアフター登山でゆとりの温泉二時間は初。帰宅は20時。

水力発電チェーンをもたらず貴重な水源、涵養林

標高1500m以上の妙高山や火打山、焼山などを中心とした山岳地帯には、ブナの天然林や亜高山帯に属するダケカンバやオオシラビソ林、高山帯に属するハイマツなどの植生で覆われていた。その大地には笹ヶ峰高原をはじめ豊かな森が育ち、森に溜められた水は壮大な滝や関川水系をつくり出す。山々は、修行する道場でもある。



7月も頂上付近は雪渓の修験道&水力の道

両座の関川水系64kmには16もの発電所がある。まさに一水系で「もったいない水流・水源」をチェーンのように連続的に回転させている。主に東北電力(株)が運転保守している。鳥坂(発)は落差202m、認可28800kWの水路・流れ込み式だ。大谷第一(発)、第二(発)は流れ込み式、調整池式と仕組みは異なるが、それぞれ落差106mで7000kW、落差227mで13200kWで計2万kWの容量を有する。また登山口近くの笹ヶ峰ダムの西野(発)は落差103m、3000kW。さらに杉野沢(発)の6600kW、田口(発)の2200kW、蔵々(発)1900kWが貴重な電力を生み出す。今回トレッキングした道から雪渓や大湿原を見てきたが、まさに両座は水力の源であった。